

日立シニア会

第23号

発行
平成20年4月1日

大みかゴルフ日立シニア会会報



日立ゴルフ場クラブハウス 絵 岡村 参次

日立シニア会35周年に際して

広報委員長 澁口 七郎



当会が発足したのは今から35年前の昭和48年春、石油ショックによる狂乱の年であった。ガソリン価格の高騰が続く現在の世相と酷似している。昨年暮れ京都清水寺森清範貫主が平成19年の象徴的漢字『偽』を大書している様子がテレビで放映され、公募一位の字とは言え「日本人の一人としてこういう漢字が選ばれるのは悲憤に耐えない。自分を律する気持ちを持ってこれをバネに来年は良い字の世の中にしたい」と訴えられた。ご存知の通り年金問題、身近な食品から政界、スポーツ選手にまで次々と「偽」が発覚して、何を信じて良いのか分からなくなった一年でもあった。二位以下

も人に関わる「食」、「嘘」と続いたのだから始末に負えない。

35年前、先輩の多くが石油ショックに遭遇した日立を気遣い見守ったのと同様、今私たちが熱い眼差しで3年後に迎える日立100周年への光輝ある上がり3ホールを見守っている。その栄えある時こそ清水寺貫主の筆先が、希望に満ちた漢字に輝く世の中になってほしいものである。

当会も35周年を迎え山崎会長のご指導の下、新しい明日への道を求めて歩み始め、昨年発足の研修会などを通じ模索を続けている。会員相互の連絡網整備…電子化…もその一つであり、各委員会では一丸となって行事開催連絡等にメール体制を導入すべく、取り組んでいる。

広報委員会も会報の更なる充実と共に情報伝達の迅速化並びに経費削減を目指し、ホームページ化への道を課題の一つとして捉え、会員皆様のご理解を頂きながら進めたいと願っている。

HSGのさらなる発展に向けて 前総務委員長 石崎 幸



HSGの「三十年の歩み」発行から5年が経過した。時の過ぎるのは早いものである。まずはHSG創立35周年を心から喜び祝福申し上げたい。日立シニア会の発展、継続の源は何と言っても役員諸氏の旺盛なボランティア精神と、これを支える会員皆さんの協力と支援にある。この関係は今後も大切なことである。

「三十年の歩み」の中で多くの会員から、「私にとってゴルフとは人生の生きがいであり、健康維持に欠かせないもの」と声高々にお聞かせ頂いた。全く同感である。

最近、会員が減少気味であるとのデータが示された。一時500名を越えた時は、新入会員の競技会参加を制限しなければならなかったことを考えると、それほど心配することもないように思われる。しかしシニア会が将来に向けて存続していくためには、今から予防措置を考えておいた方が良くはないかと思う。なぜなら会員予備軍である現役組のゴルファーが極端に減少しているからである。対応の方法としては、会則第5条の会員資格（日立、電線、化成の課長・主任技師以上）を緩和することが、効果的であると考えられる。例えばHSGではOGS（大みかゴルフ同好会）会員の入会を認めていないが、これを認めることにしてはどうか。但し、無制限とせず、1年間の認可枠を設け、認可人員を最大10人程度とする。役員会で話題にして頂ければ幸いである。



HSG「30年の歩み」

HSG創立35周年に当たり、先輩達が築き上げたHSGを私たちは受け継ぎ、後輩に伝承しなければならないとの感慨を一層強くした次第である。

大みかGCへの想い

A組 中野 修一



たくさんの皆様方が、大みかGCには深い思い出を持っておられることと思います。私の思い出は、丁度昭和60年の仕事がめっぽう忙しい頃に、大みかGCでのプレーが癒しとなったことである。管理人の人見さんも健在で、ある時の公式戦で最終ラウンド5番ホールに来た時である。5番グリーンに妙に人だかりがして、遠くから見てみるとカートが何台か置いてある。そして、あのこわい人見さんがいるのではないかと。同伴プレーヤーと「なんですかね」と言いつつ近づくと、何と朝受付でカート使用届けをしていない人をチェックしているのではないかと。私は届けていて良かった。神出鬼没の人見さんにはかなわない。

また一方で練習グリーンではバターの打ち方を教えて頂いた。両足の中心に球を置くから左へ曲がる。左足先に球を置いて打てなどと言われ、その後守っている。

大洗GC、神戸六甲GCと同じく設計者井上清一氏の作品である大みかGCは、たくさんのチャレンジを真向から受けとめてくれるやり甲斐を創り出してくれた。私も一時期とりつかれ、遂には61年10月26日のA級ツームストーンの6ホールで29、27、25が出て、アンダー3人でプレーオフとなったがあえなく3位に終わった。この時と前後のカード提出でハンディ9とさせて頂いたのは幸いであった。

大みかGCと例の難しい5番ホールが続く限り、人見さんを忘れることは出来ない。



在りし日の人見さんと
5、6番ホールのカート置場

ゴルフ雑記帳



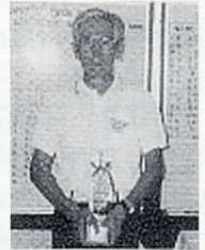
A組
茶園 悦男

ゴルフを始めた動機は大多数の皆さんと同様で、職場の上司や先輩に連れられて手ほどきを受け、ルールやマナーを教えられたことだった。現役時代は余り練習もせずコースに出る状況であり上達もしなかった。

定年退職後は比較的時間の余裕も出てきたので仲間とのゴルフコンペに参加するようになったが成績も良くな、なかなか向上しなかった。大決心しメンバーコースである某カントリークラブの月例杯競技会（Bクラス）に参加することにした。その理由は（1）見知らぬ人とのプレーで試合度胸をつける、（2）競技会

の成績でハンディキャップを上げ20を切る、（3）一人で参加できる、などである。

初めての人達と一緒にプレーするため、ネームプレートの名前を見せながら自己紹介、ボールを確認してスタートした。同伴者の名前も1回聞いただけでは見分けがつかないので、スコアカードに名前と帽子又は、上衣の色などを併記して名前を覚えた。参加期間が長くなると、同じ人と2回、3回と同伴することになり、名前も覚え友達になり多くの友人を得ることができた。HSGに入会したのはこの月例杯競技会に初参加した年の11月で70歳の時であった。月例杯競技会に出て1年目から成績が良くなり、各種のコンペで優勝又は、上位入賞ができるようになった。昨年の8月で5年間続いた月例杯競技会への参加を終了した。この間ハンディキャップは18となり、優勝3回、入賞数回を得ることが出来た。これからはHSG会員として健康に留意しながら少しでもレベルが向上するように努力したい。



月例杯競技会にて優勝

ゴルフ雑感



B組
曾根原隆士

初めてゴルフのクラブを握ってから35年にもなるうか。本を片手に素振りをはじめたのが仕事先の阿波徳島。それが生涯無二の友になろうとは夢にも思わなかった。

コースの最初は大みかGC。始めてから2～3年後のこと。夏の季節に上司に誘われた。集合時間は確か6時半。1番ホールにはスタート順を決めるボール入れの細長い箱があり、グリーンには数条のボールの軌跡が鮮やかに残っていたのを記憶している。何回か通い、無心でプレーしていた或る日のこと、突然大きな声がした。

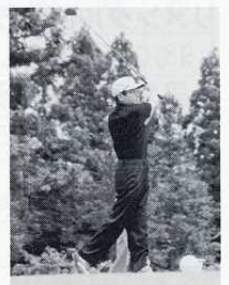
見ると1番のティー・グラウンドでハンドマイクを手に「バンカーは低い方から入れ!」と怒鳴っている人がおられたが、すぐに声の対象が自分と分かりビックリしたことがある。後で確認すると大みかGC事務長人見さんの由。何回かご指導を頂いたが、今はこのご指導が懐かしく思い出される。

話は変わるが、戦後平均寿命が急速に延びて昨今男性は79歳となり、70歳が古来稀なりでは無くなった。このため「古稀」の言葉に替って、75歳以上を対象とする「後期高齢者」という言葉が生まれたようだ。健全な老後が送れるようにと新たな医療・介護制度も導入されたが、前例の無い高齢化社会には確たる処方も文献も無い。先人の知恵を見習えば晴耕雨読がその回答の一つかもしれないと思う。

2008年は子年。私は亥年生まれだから11年後の年男に向けてスタートした。80歳までも元気でゴルフを楽しみたいものである。



故人見さん愛用のハンドマイク



趣味 = 活力



A組
桜井正一郎

趣味は、現役のときは囲碁とゴルフで、定年後に模型グライダーづくりを加え、どれも大切にし、生きがいになっている。

碁打ちの仲間入りをしたのは寮生時代で、丁度半世紀になる。(多)と(佐)で囲碁部幹事を務め、事業所対抗戦や地域同好会との親善試合、月例会などで腕を磨いた。無言の対局の中で相手の人柄にふれ、礼節と人を思いやる心を学んできた。

—碁がたきの気迫の一手心燃ゆ—

ゴルフは40代半ばの頃夢中になった。腕も上達し、仲間ハンデではシングルになった。慢心が災いし、女神に見放され真のシングルへの道は閉ざされた。チャンスがきたときは謙虚に努力すべきだったと反省している。

—慢心は女神が嫌う真の敵—

定年後、子供達のものづくり教室を手伝った。いろんなおもちゃを作ったが、模型グライダーに人気があった。子供達から「格好がいい」「よく飛ぶ」「壊れにくい」などのリクエストがあり、バルサ材で鳥の飛翔姿をイメージし、作り続けた。執念の賜物で多くのノウハウをつかみ、今はこれを生かし子供と一緒に楽しんでいる。

—老いたゆび木のぬくもりに蘇えり—



子供達と模型グライダーづくり

ゴルフの格言に学ぶ



B組
出村 吉晴

ゴルフにかかわる名言、格言には、時には「目からウロコ」のこともあり、中には人生訓ともなり得るものに出会うことがある。私がこの種の語録に関心を持つようになったキッカケは、古稀を過ぎてからこの一年、100を切れなくなったことと関係が深い。

年をとっても「100を切る」ことを元気の目安にしていた私にはショックであった。「もう年か」などと、「古い」を言い訳にさえするようになっていた。こうなるとゴルフに限らず、何事に対しても「もう・・・」と言う受容的思考となり、日常生活まで活気がなくなる。

こんな時、たまたま格言集で目に止まったのが、(1)「ゴルフに年齢は無い、これを行う強い意思さえあれば何歳からでも上達する」(米、ベン・ホーガン)、(2)「ゴルフはメンタル面が8割、技術的なものは2割に過ぎない」(英、ジョン・ヘンリー・ティラー)。

大方の人が承知している言葉と思うが、行き詰まっていた私にはハットするものを感じさせた。

受取り方は人それぞれに違うと思うが、私にはこう読めた。(1)「ゴルフに年齢は無い、もうと思えばダメになる、何事も年のせいにするな!」、(2)「ショットは技術面よりメンタル面が大事、失敗の反省は技術面よりメンタル面で行え」

100を切れないゴルフを反省して見るに、メンタル面で「なるほど」と思えることが多々ありである。メンタル面での教訓を肝に銘じ、無理をせず何事も「もう・・・」とは考えず、「まだ・・・」と思う気持ちで元気を出し、先ずは100を切るゴルフに再挑戦したいと思っている。

高齢族真っただ中にいる私にとって、人生訓にもなる格言であった。



スタート前はいつもニコニコだが……

早朝ジョギング



C組
小林 正幸

早朝ジョギングは30年以上続けている習慣である。病気や長期出張のために中断したことはあるが、良くぞ続いていると我ながら感心している。

走り方は歳とともに変わってきたが、最近は週に2～3回、4時半頃に起床し、5時から6時半の間、あまり疲れない程度にゆっくり走ることにしている。それに腰痛に効きそうなストレッチと筋トレを走る前後に入れている。

走る楽しみは、走った後に浴びるシャワーの爽快さと、走りながら体感する季節の移り変わりである。ホ

ームコースの池の川運動公園は、自然に恵まれており、芝の色の移り変わり、木々の芽吹き、春の桜、秋の紅葉、見かける小鳥の種類などなど枚挙にいとまがない。しかしなんと言っても真冬の快晴の朝がすばらしい。氷点下の冷気、満天の星、街灯の光にダイヤモンドをばらまいたようにキラキラ輝く芝に降りた霜、踏みつけるとザクザクと軽快に鳴く霜柱など、寒さで手足に霜焼けを作りながらもやめられない。

高齢者には早朝の運動は心臓や脳に良くないことは承知しているが、帽子に緊急時の連絡先でも書いて、これからも続けるつもりである。5番ホールの坂に負けないように！



今年の初日の出
ジョギングで会瀬海岸へ

「とことんゴルフ」



D組
山野 邦雄

生涯学習を先進的に進め総理大臣表彰を受けている清水市（現静岡市清水区）の清見潟大学塾に「とことん学んで少し臥せてあっさり死ぬ」と言うのがある。そのとおりになるか否かは別として家族、社会への負担軽減のために心掛けたいスローガンであると思っている。「学んで」が「プレーし」に替わること、「少し」が「1週間」と伴侶により定義されていることが小生の場合特徴的である。ゴルフ場でポックリが最高だと言ったら1週間位は看病させるということである。

とことんプレーするには楽しくないとできない。楽しくプレーするには健康と進歩が必要であり、これには筋力、持久力、柔軟性、平衡力、集中力、忍耐力、スキル、タクティクスの向上維持が欠かせない。そう考えフィットネスクラブ等へ入会して、筋トレ、ヨガ、エアロビクス、太極拳、ピラティス、ウォーキング、真向法等効果のありそうなものに色々手を出した。5年を費やしたが、いずれも物にならない。クラブに来るおば様方のパワーに圧倒されるばかりである。これらは手段であってゴルフが楽しく出来る程度の体力が付けば良いとが、DNAの為せる業であるとか、勝手に理由付けしてストレスを避けている。

ドライバーは高反発から適合に、アイアンはスチールからカーボンに変え、レーザー距離測定器も準備し、ギアは整えた。6年前の自己ベストを6年後に再現しエージシュートとなることを目標に、意欲と体力の維持に努めたいと思っているこの頃である。



真向法 第三体操

会社員と公務員



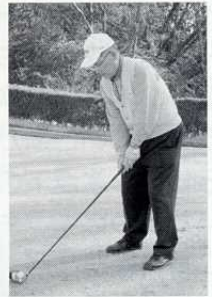
D組
浜田 謙蔵

私は民間企業（日立事業所）から縁あって日立市役所の公務員生活を5年間経験し定年退職した変り種である。日立市役所の情報化のお手伝いをする事になり、4年弱の出向期間を経て正規の市職員となった。退職後半年位は失業保険をもらえると憧れていたが、公務員には失業保険がないことが退職直前に判明。現在は厚生年金、そして若干の共済年金をもらう年金生活である。

よく会社員と公務員とは何がどう違うのかという話題になり、競争心、コスト意識、予

算主義、減点主義等々の話になるが、仕事に対する姿勢や真面目さ等はまったく同じであり何ら違いはない。また共にゴルフ愛好家が多いのも同様である。役所の人にはラウンド回数が少ないのに上手な人が多い。

現在は、日立事業所の仲間とのゴルフと日立市役所の現役やOBの仲間とのゴルフが楽しみであり、中でも日立シニア会（D組）での初優勝と日立市役所OB会（けやき会）ゴルフコンペでの初優勝が目前の大きな目標である。ハンデは共に16であり、実力ハンデへの見直しが待ち遠しいのが本音であるが、何とか練習を重ねて目標を達成したいと思っている。さて、先に優勝できるコンペはどちらになるだろうか？



お国自慢

わが故郷「会津坂下町」

B組 江川 仁



わが故郷は、福島県会津の坂下町（ばんげまち）で、会津盆地のほぼ中央に位置している。坂下と書いて「ばんげ」と呼ぶのは大変珍しいと新聞でも紹介されたことがあった。

会津は、裏磐梯・猪苗代湖を中心とした国立公園や、野口英世記念館、白虎隊の飯盛山、鶴ヶ城の天守閣、武家屋敷等観光地として広く知られているが、私は、皆さんにあまり知られていない我が故郷坂下町近郊のお国自慢を紹介したいと思います。



立木観音

第一は地理的条件の良さです。盆地のほぼ中央という事で、鶴ヶ城の会津若松市、ラーメンと蔵の街喜多方市、日本三大虚空蔵尊がある柳津町と、主な市と町へほぼ三里（12Km）の道程で、各地へアクセスが良い。

第二は近くに歴史的に有名な仏閣が二つある。一つは「金塔山恵隆寺立木観音」(国の重要文化財)である。本尊「十一面千手観音菩薩」は、弘法大師が巨木を立ち木のままで彫刻し造りあげたことから、「立木観音」と伝えられている仏像である。身丈は8m50cmあり、一木彫刻の仏像では日本最大級の大きさである。両脇に安置されている身丈2m近い二十八体の脇侍・三十体の風神・雷神像も大変珍しい貴重な仏像として知られている。二つ目は通称「中田観音」と呼ばれている「金銅造十一面観音立像」である。鎌倉時代の铸造としてこれも国の重要文化財に指定されている。また、野口英世博士の母シカさんが、外国にいる英世博士の無事を祈願した観音としても有名である。



中田観音

第三は、米・酒と漬物が旨い。美味しい米と綺麗な水で酒がおいしい。光った象牙のような温かいご飯と手造り味噌のお汁、伝統ある各種漬物での食は、故郷そのものの味で自慢の一つである。

会津方面へ行かれた際は、わが故郷会津坂下町にも足を延ばしてみても如何？

私の老楽記:記録保存に挑戦中

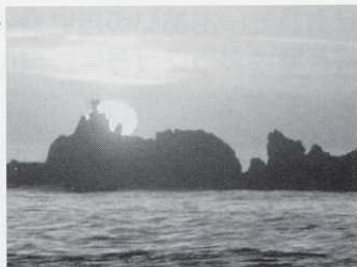
B組 板橋 久郎



喜寿を目指す満73歳、毎日をそれなりに楽しく過ごすようにしている。特にパソコンは、ポケ抑止に、そして、私の生甲斐を感じさせる宝箱でもある。定年後何をして過ごしたら良いかを考えていた頃、何か集中できるものをもと関心を持ったのがパソコンである。当時(昭和63年頃)のOSはMS・DOSの時代(Macもあった由)で、初めて求めた中古のノートパソコンでロータス123と言う表計算ソフトを利用し、私なりに興味あるデータを入力して色んな分析が出来た喜びは忘れられない。定年後、日立社友会茨城支部同好会に入会して、各勉強会で習得した手法を

生かして、私なりに以下のような楽しみを記録に残すべく努力中である。

(1) 10年以上前に会員30人弱で始めたコンペがあり、毎回の組合せ記録を残し(昨年11月で63回)同じ組でのプレーが偏らないよう、簡易ソフトで組合せを作成するのが私の担当であり楽しみの一つである。(2) ゴルフを始めたのは昭和48年、爾来記録をパソコンに入力保存(約35年、880回ゴルフ場へ行き、1,033ラウンド)している。時々このデータを見て若い頃を振り返るのも味わいがあり楽しいものである。(3) デジカメの撮影でも、GPSキッズを利用して、撮影場所の経度・緯度をパソコンに保存し楽しんでいる。あるポイントを決めて日の出を撮っているため撮影場所は日々変わり移動して行く。冬至と夏至で撮影場所が約300m離れるなど知る楽しみ方もしている。(4) 現役の時、通勤車内で聴くため、演歌やフォークをFM放送で留守録音したテープが3千曲以上あり、これを音声編集ソフトを使用してCDにするため、現在デジタル録音中であり楽しみの一つである。



夏至の頃の日の出
(磯原海岸)

孫の成長を毎日楽しみつつ自分の同じ頃に思いを寄せている。その孫が今年も小学6年生。自分はその年齢で親父を38歳の若さで亡くした。楽しく健康な日々であるようにと祈るばかりである。

写真の楽しさ、難しさ

B組 堀江 浩一



私が定年退職を迎えた頃の世相は、「濡れ落葉」の全盛期であった。そこで落ち葉にならぬため、一人でもグループでも楽しく、かつ健康に活動できて、私にも出来そうな写真を趣味として選んだ。しかし一眼レフのカメラがない。いろいろ悩んでキャノンの一眼レフカメラを購入した。更にカメラ雑誌もいろいろ集めて勉強した。やみくもにシャッターを切ったが、どうも雑誌のような写真が撮れない。そこで写真同好会に入会した。ワイワイ、ガヤガヤ写真について、お互いに批評しあうことが自分の写真技術、感性の向上に大いに役立った。現在、私は四つの同好会に

所属して大いに楽しんでいる。

写真の難しさは、創造的な作業を含む作品なので、100点がなく、人それぞれの芸術性、経験などで、大きく評価が違ってくる。写真術には、色々の格言がある。例えば(1)光と影の取扱い、(2)日の丸構図はダメ、(3)写真は引き算、(4)風景には近・中・遠の構成が大切、(5)構図の基本は黄金分割法、(6)題名は映像と重複しない等々です。

私のカメラ歴は約12年ですが、今年度の市展では、写真の部で幸運にも科学文化情報財団賞を頂きました。盛岡の代表的な祭りのチャグチャグ馬子を2泊3日で撮影旅行した時の一枚です。その他に入選した主なコンテストは、茨城二科会、アサヒサロン、各市町村が主催するコンテストなど多数です。



チャグチャグ馬子

今後は現在デジタルカメラに移っている写真界なので、小生も銀塩カメラから、そろそろ切り換えて、時代の波にのり遅れないように心掛けたい。また分野にこだわらず、イベント、祭り、風景などを主体に自分の写真を撮り続けたい。

ゴルフとスキー

B組 池田 忠禧



私は冬から春にかけてはスキーを、他の季節はゴルフを楽しみ、家では好きな本を読むという生活を送っている。70歳の現在、幸いにして健康で体が動き、スキーやゴルフを楽しむ良き友人に恵まれ、安価で空いている数々のゴルフ場に囲まれた地方に住むというのは、大変な幸せかも知れない。雪国育ちで小学生の時から続けているスキーは、私にとって非常に大切な遊びで、腕前はいまひとつだが、それにかける情熱は今も衰えない。学生時代に教えていただいたスキーの先生の滑りに魅

せられて、ああいう風に滑りたいと憧れたのが今に続いている。ここ数年は、蔵王、ウイスラー、月山で滑りを堪能している。朝日を受けてダイヤモンドダストがきらめく晴れた空の下、きれいに圧雪された粉雪のバーンを思いきり飛ばす爽快感は比べるものがない。

スキーに比べてゴルフは始めたのが遅く（20数年前）野球やテニス等をやらなかった私には何とも難しい遊びである。プレー中に、良いショットで快哉を感じるよりは失敗して残念と思うことの方が多い。しかし、シニア会コンペでも不調を続ける中で「もう少し良いスコアでラウンドしたい、出来る筈だ」という気持ちが練習を続けさせ、レッスンも受けて「今のこの感じは本物ではあるまいか、これを身に付ければ上達する」等と淡い、しかし大抵は実現しない希望を懐いている昨今である。

5月中旬、鮮やかな緑に芝が生え揃った大みかコースのフェアウェーを薫風を受け、陽光の下、シニア会の皆様と楽しく闊歩するのを楽しみにしている。



蔵王ザンゲ坂にて

卓球とゴルフ

D組 綿引 邦彦



私はゴルフよりも卓球の練習回数が多いです。昨年日立市民卓球大会、高齢者の部で優勝できました。予選リーグは組合わせに恵まれ全勝で通過、ところが決勝トーナメントの準決勝は第1、第2セットともに完敗、第3セット辛勝、第4、第5をやっと勝利し決勝に進みました。決勝でも第1セット惜敗しましたが、続く3セットを連取し優勝できました。

勝因は先行されても諦めずボールをよく見て練習通りにボールを繋いだことだと思います。卓球の練習は普段から基本のラリー打ちを続けるようにしています。特に最初の3本は力を抜いたゆるいボールを同じところに返球しています。3本繋いで又次の3本を続ける。そうすると練習相手もほとんどミスをしなくてラリーが続き練習が楽しくなります。

卓球もゴルフもミスを少なくした方がよい結果になります。卓球は動いているボールを相手の居ないところへ、ゴルフは静止しているボールを自分の意図するところへ運びます。動と静の違いはありますが、打つ瞬間、頭を動かさずボールをしっかり見ると卓球はラケットの重心に、ゴルフはクラブヘッドの芯に当たりミスショットが少ないように思えます。

卓球もゴルフも未だ初心者ですが、これから今よりもっと自分に適した練習方法を探して、シニア会の皆様と趣味のスポーツを楽しみたいと思います。



市民大会にて優勝

いちご作りに“はまった”

D組 向尾 正昭



今年でいちご作り5年目になるが、とにかく面白くて楽しい。きっかけは、“ピンクの花が咲くいちご”との宣伝文句に魅かれ、またその苗の品種名が桃香（ももか）だったこともあって、我が家の愛犬名「もも」に因んで、3株ほど購入したことに始まる。

庭先での栽培だったため、当初は園芸用の大小の黒ポリポットと場所移動可の苗収納バスケットを用いる方法を思いついてやってみた。その後、我流ではあるが創意工夫と試行錯誤を繰り返し、自称「無農薬自然ポット栽培法」なるものを作りあげた。いちご作りの成否はいい苗を作ることではほぼ決まる。初夏、親株から発生するランナー（つる）で子株となる芽の部分ポット中央の土の上にカラークリップで挿しとどめる。その後、親株からも子株（緑色クリップ）からも複数のランナーが発生するので、元気そうなランナーを選んで来年用の苗とする孫株（黄色）、曾孫株（赤色）をポット上で育成させ、秋に定植用ポットに植替える。実のなる方向を南向きにして越冬させると、実のつきが良くなることも判った。



無農薬自然ポット栽培

最近ではイチゴジャム作りにまで手を伸ばし、去年は、40kgのいちごの収穫があったので、17kgのジャムを作り、その一部の45個を幼稚園・教会バザーに出品した。香りと酸味が好評で即完売だった。

出会いの品種が良かったと診ている。幸運であった。今回は、紙面上、いちご作りの一端しか紹介できなかったが、手掛けてみると奥が深い。

若輩ものの私にご指導、情報交換いただける方のお声かけがあると大変嬉しいのですが・・・。

歴史探訪 (2)

孫沢橋の台戦

B組 薄 浩八



孫沢橋は現在の日立市桜川町3-2-10、桜川と6号国道と交差している場所（日立サンプラザ横）であったであろうと推測されております。この付近に橋があり、これを「孫沢橋」と言いました。今から約440年前の永禄5年8月、ここで合戦が起きました。この時代は、戦国時代で国取り合戦が日常茶飯事に行われていた時代です。

福島相馬中村の城主相馬盛胤の率いる軍勢が、佐竹義昭の留守中に現在の大沼地区に陣地を敷き攻込み、佐竹氏との大合戦となりました。佐竹義昭は、各地を転戦中で留守でしたが、佐竹各領主の騎馬隊が出動して防戦し相馬軍を追いやりました。この時、相馬将士は30余人が戦死したと伝えられています。住民は敵兵にも拘わらず手厚く葬り、碑を建立して弔いました。相馬藩主は、「春来れば 彼岸桜は咲きにけり 身の哀れさは孫沢にあり」の和歌を詠み参勤交代時には必ず詣でたと言われております。

その碑には、梵字で「大日」、「阿闍」、「宝生」、「阿弥陀」、「不空成就」の各如来の種字が彫刻されております。今は、碑の風化が進み判読することは出来ません。

この碑は、昭和51年の国道建設時に、「孫沢橋」の袂から多賀町5丁目9番地（金村歯科医院前）に「相馬碑」として移されました。元の孫沢橋の袂には、志田諄一氏の碑文による記念碑が建立されております。



身の哀れさを伝える相馬碑と記念碑

第7回 チャンピオン決定戦 (平成19年度)

栄冠は 山口 幹夫 氏 へ

平成20年 3月13日

平成19年度チャンピオン戦は3月13日、無風、快晴の絶好のコンディションの中で、平成19年度各競技会上位入賞者（ベスグロ含む）46名参加により行われた。冬枯れの高速グリーンには相当悩まされたようだが若手D組の山口幹夫氏が実力を如何なく発揮され、ベスグロにて第7代チャンピオンに輝いた。



山崎会長より
優勝カップ授与



左より
順優勝 高山氏
優勝 山口氏
第3位 千葉氏

入賞者

(有資格者66名 参加者46名 参加率 70%)

順位	氏名	G	H	N	組
優勝	山口 幹夫	77	4	73	D
準優勝	高山 省三	93	20	73	D
3位	千葉 優明	94	20	74	D
4位	渡部 正義	82	7	75	B
5位	綿引 邦彦	88	12	76	D
6位	樋口 修	93	17	76	D
7位	橋本 正明	83	6	77	C
8位	内藤 凱夫	85	8	77	D
9位	高橋礼次郎	90	13	77	C
10位	鈴木 博之	99	22	77	A
11位	海老根克明	86	7	79	C
12位	須江 二郎	87	8	79	C
13位	川崎 寿夫	93	14	79	C
14位	片岡 武	95	16	79	C
15位	堀江 浩一	104	25	79	B
BG	山口 幹夫	77			

【山口幹夫氏談】

チャンピオン戦で優勝できるとは全く考えていませんでしたので大変嬉しく思っています。ご一緒させていただいた、小西さん、羽鳥さん、鈴木さんに感謝いたします。

前回2月の競技会では、グリーンオーバーのミスを繰り返し自滅しましたので、今回は冬の大みかには手前からの鉄則を目標にしたことと、Dクラス代表として上位クラスの諸先輩にはグロスで絶対に負けられないようにしようとの強い気持ちで望んだのが結果としてベスグロ優勝に繋がったものと思います。小西さんというお手本が同組だったのも幸いいたしました。日立シニア会には、エイジシュートを始めとして素晴らしい記録を持った方がたくさん居られます。記録の達成にはまずは健康であることが第一ですので、体調管理に留意し、何か記録を残せるよう永く本会の一員としてゴルフを楽しんでいければと思っています。今後とも宜しくお願いします。有難うございました。

阿部競技委員長談： 3月としては暖かなゴルフ日和に、H19年度チャンピオン戦が開催出来たことは嬉しい限り。さすがはチャンピオン戦、参加率70%と高く、全員が時間内に参集されました。高速グリーンに悩まされましたが結果は若い方が爆発。上位3名をD組が独占し、10位以内にも6名が入るという活躍は見事!!

坊坂さん またまたエイジシュート

A組の坊坂明氏（77歳）が昨年11月の第204回競技会、更に、今年1月の第205回競技会と立て続けにグロス77、75の素晴らしいスコアで、3度目、4度目のエイジシュートを達成されました。これは当シニア会では、坊坂氏本人及び青木忠氏の2度達成を超える快挙で、日頃の努力の賜物でしょう。これに止まらず、更に、記録に挑戦する姿勢には、敬服するのみです。



阿部競技委員長談： おめでとうございます。他のコースに較べて難しいと言われている大みかコースでのエイジシュートは立派!! 今後もどんどん記録を伸ばして下さい。

競技会成績

第203回競技会成績





於 日立ゴルフクラブ

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
☆A組 9月27日	 <p>SとAと一緒に なっても一度は優 勝!との希望が82 歳で叶えられた。 ゆっくりペース に合わせて頂いた良き同伴者、 8月の研修会ははじめの精進、更に、 ハンデとゴールドティのお蔭で ある。</p>	入賞者名	山崎 精二	坊坂 明	二平 豊治	横須賀 元也	高根 元	赤塚 淳	川崎 健嗣	佐藤 幹夫	石崎 幸	茶園 悦男	坊坂 明
		G	94	78	86	96	88	95	87	93	94	97	78
		H	21	3	11	20	11	18	9	14	15	18	
		N	73	75	75	76	77	77	78	79	79	79	
		新H	17	3	10								
商品は“果物”													
☆B組 9月27日	 <p>同伴競技者の達 人坊坂様、内藤様 のパワーショット に魅せられて、フ ルショットの距離 が普段より伸び大変嬉しい結果 となりました。有難う御座います。 日頃からフルショットを心掛け たい。</p>	入賞者名	高月 英男	志田 茂	岡田 伸一	鈴木 静二	大貫 龍蔵	今井 史郎	古目谷 勲	江川 仁	八木 秀幸	河村 孝生	岡田 伸一
		G	91	103	77	82	96	105	87	90	91	91	77
		H	21	32	5	10	22	31	12	15	16	16	
		N	70	71	72	72	74	74	75	75	75	75	
		新H	15	26	4								
商品は“果物”													
☆C組 9月13日	 <p>夢に見た優勝で した。同伴者の橋 本、斉藤、金子様 とリズム良くプレ ー出来たお蔭と感 謝しています。 天気も良く、ボールはラフを 避け、パットは良く入り、幸運 に恵れていました。</p>	入賞者名	鈴木 勝美	岡田 定五	鈴木 正	片岡 武	橋本 正明	須江 二郎	海老根 克明	小野寺 勝重	植田 千秋	高橋 礼次郎	橋本 正明
		G	90	84	96	101	81	83	83	89	90	90	81
		H	20	10	22	27	6	8	7	13	14	14	
		N	70	74	74	74	75	75	76	76	76	76	
		新H	14	8	20								
商品は“果物”													
☆D組 9月13日	 <p>ワンオーバーで したが予想外の初 優勝で嬉しい限り です。勝因はまず 良い雰囲気です。競 合った同伴競技者の酒井、田中、 高山氏に感謝。更に予想外のチ ップインで粘りのプレーが出来 たこと。</p>	入賞者名	花見 幸作	石田 宏一郎	高山 省三	広瀬 英貴	斉藤 宏資	千葉 優明	山野 邦雄	石川 隆宏	木内 一之	緑川 正和	山野 邦雄
		G	87	89	97	86	91	98	83	87	91	98	83
		H	14	14	22	10	15	22	6	10	14	21	
		N	73	75	75	76	76	76	77	77	77	77	
		新H	11	12	20								
商品は“果物”													

競技会成績

第204回競技会成績

於 大みかゴルフコース

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
☆A組 11月1日	 <p>思いもかけぬ優勝も、ハンデに頼る不甲斐なさ。スコア70台の方もおられて慙愧。次回には、メタボも克服し、華麗なるフォームで芝生を闊歩し、ヤンヤの喝采裡に優勝したいなと、青春の情熱を再び想起させられています。同伴の皆様、感謝言上します。</p>	入賞者名	近藤 晋司	坊坂 明	阿部 章	桜井正一郎	涌井 滋	下 昭次	笠井 大史	山崎 精二	吉田 晴彦	赤塚 淳	坊坂 明
		G	89	77	98	94	89	94	95	95	96	96	77
		H	16	3	23	18	12	17	18	17	18	18	
		N	73	74	75	76	77	77	77	78	78	78	
		新H	13	3	21								
坊坂明氏エイジシュート賞													
☆B組 11月8日	 <p>好天にも恵まれ、同伴者（岡田さん、正岡さん、井上さん）のお蔭で、久しぶりの優勝と、ニアピン2つを同時に頂き、心から感謝しています。また日頃健康のため大みかGCで練習ラウンドを共にし、適切にアドバイスしてくれるゴルフ仲間にもお礼を申し上げます。</p>	入賞者名	橋本 宏	久保 英章	蓑輪 勉	加藤 格司	岡田 伸一	木暮 澄夫	羽鳥 文夫	出村 吉晴	中津川 恵一	渥美 秀夫	岡田 伸一
		G	82	79	81	98	78	100	88	96	99	83	78
		H	15	8	9	25	4	26	13	21	20	6	
		N	67	71	72	73	74	74	75	75	76	77	
		新H	8	6	8								
☆C組 11月15日	 <p>入会7年目で、ようやく優勝できました。当日は寝不足のせいか、パットが届かなかったり、攻めるゴルフができなかったのですが、スイングに余分な力みが無くなっていたのが幸いしました。同伴の橋本、高橋（礼）、中島さんの励ましに感謝申し上げます。</p>	入賞者名	片岡 武	稲田 周三	大豆生田 勇	名取 武	野田 仁郎	鈴木 令淳	堀内 昭一	星野 和貞	池上 久也	石上 維宏	稲田 周三
		G	92	74	87	86	89	90	92	96	84	91	74
		H	27	7	19	16	17	18	19	23	10	16	
		N	65	67	68	70	72	72	73	73	74	75	
		新H	16	2	13	14							
☆D組 11月22日	 <p>願望通り、連続のチャンピオン戦出場資格取得の栄誉は過去の同伴の方々、今回の広瀬、浜田、好永先生の良きお手本と家族の冷笑を甘受し、日夜練習した本人の努力の賜であります。連続BBの再発にならぬように努力します。有難う御座いました。</p>	入賞者名	泉 勝夫	花見 幸作	千葉 優明	山口 幹夫	山野 邦雄	碓 信吾	荻原 章	石田 和夫	木村 奎二	高山 省三	山口 幹夫
		G	87	86	97	80	82	86	95	99	104	99	80
		H	13	11	22	5	6	10	18	20	25	20	
		N	74	75	75	75	76	76	77	79	79	79	
		新H	10	9	20	4							
山口幹夫氏は初参加のため、第四位入賞とする。													

第205回競技会成績

於 大みかゴルフコース

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
☆A組 1月24日	 <p>昨夜からの冷たい雨が上がり、爆弾低気圧による強風のなかスコアメークに苦しみながら凶らずも優勝できました。地域でのボランティア活動の合い間をみてのゴルフですが何とも楽しい限りです。同伴で好成績を残された涌井様、茶園様に感謝いたします。</p>	入賞者名	川松 文夫	坊坂 明	小野寺 敬	赤塚 淳	茶園 悦男	鈴木 博之	吉田 晴彦	二平 豊治	新谷 雅男	久保寺朝二	坊坂 明
		G	88	75	90	95	95	100	98	91	107	110	75
		H	19	3	13	18	18	22	18	10	26	29	
		N	69	72	77	77	77	78	80	81	81	81	
		新H	13	3	12								
坊坂明氏4度目のエイジシュート達成													
☆B組 1月31日	 <p>今迄100を切って賞品を頂くことを楽しみにしていたが、計らずもグロス93と上出来で優勝できた。今回の実績を省みると、まだスコア改善の可能性がある様に思えるショットやパットがあったので、今度は90を切れる様に練習に励みたい。</p>	入賞者名	木暮 澄夫	羽鳥 文夫	蓑輪 勉	奥山 三郎	今井 史郎	澁口 七郎	曾根原隆士	海老根 猛	古目谷 勲	志村 浩道	蓑輪 勉
		G	93	86	82	88	105	89	92	109	90	93	82
		H	26	13	8	14	31	14	17	33	12	14	
		N	67	73	74	74	74	75	75	76	78	79	
		新H	17	11	7								
☆C組 2月14日	 <p>ハンデ(25)と、同伴の2名の競技委員の方との和やかな雰囲気のお蔭で、今回計らずも優勝できました。バンカーで大叩きしなかったこと、1週間前に下見をして冬のグリーンの感触をつかみ、3パットが無かったことなど「つき」もあったかなと思っています。</p>	入賞者名	滝川 嘉夫	畔野 信政	高橋礼次郎	児矢野 勇	酒井 功一	荻原 覚	村尾 勝衛	高坂 七三	小野寺勝重	田中 治彦	畔野 信政
		G	94	83	88	86	91	95	89	92	93	99	83
		H	25	10	14	11	12	16	9	12	13	19	
		N	69	73	74	75	79	79	80	80	80	80	
		新H	18	8	13								
☆D組 2月21日	 <p>ゴルフ歴は20年と長いのですが、ここ数年落ち目の一途でした。昨年は一度も100を切れず。今年より心機一転、週一練習を始めた。その甲斐あって方向性が改善された。これが今回優勝の要因だと思う。ゴルフは楽しい。今後もシニア会頑張りますのでよろしく。</p>	入賞者名	齋藤 幸雄	内藤 凱夫	木内 一之	千葉 優明	碓 信吾	飯田 芳彦	牧野 淳一	石川 隆宏	吉井莊三郎	松浦 諄	内藤 凱夫
		G	99	82	86	93	85	104	102	89	90	96	82
		H	28	10	14	20	10	27	24	10	10	16	
		N	71	72	72	73	75	77	78	79	80	80	
		新H	22	8	13								

エチケット委員会

心配りと、ゴルフ規則を守って楽しいゴルフ

2008年JGA規則主要変更点ミニ紹介

- 〔規則変更の概要〕 1. 規則の明確性を向上させる
2. ある特定の状況下での罰打を軽減し、罰のバランスを取れるようにする

〔規則主要変更点の紹介と解説〕

規 則	変更点解説 (括弧内は改定前)
紛失球 (規則18-1, 24-3, 25-1C, 26, 27-1)	規則に基づいて別の球をインプレーした場合、初めの球は紛失球になると 明確化された 。(不明確であった)
球の確認(規則12-2) 誤球(規則15-3)	ハザード内で 確認のための球の拾い上げが認められる 代わりに、ハザード内の 誤球は2罰打 となった。 (ハザード内の誤球には 罰打が免除)
球がハザード内にある場合 (規則13-4, 例外2)	バンカー内で次のストロークに対してライの改善等の違反になることがなければ、 砂を均すことができる ようになった。 (ストローク後均した場所に球が戻ってきたら 2罰打)
動いている球が方向を変えられたり止められた場合(規則19-2)	プレーヤーの球が自分のキャディや携帯品に当たった場合は 1罰打 となった。(2罰打)
動かせる障害物(規則24-1)	付き添われていたか、取り除かれていたか、差し上げられていたかに関らず 、球が動いている間に旗竿を取り除いても違反とならなくなった。(人が付き添っていた旗竿についてのみ)

〔HSG「マナー・エチケット集」の内容変更〕

頁	項 目	変 更 後 (括弧内は変更前)
3	スタート前に 4.	・・・又、コースでは ゴルフシューズ 以外の使用は禁止です。 (・・・又、コースでは スパイクレスシューズ の使用は禁止です。)
23	主要ルール 3.	バンカーの中で・・・触れたり、 小枝を拾う 。 (バンカーの中で・・・触れたり、 小石・小枝を拾う)
24	主要ルール 7.	自打球が自分のキャディバッグに当たった時。 1罰打 (2罰打)

〔HSG研修会〕開催の案内

- ・偶数月の第2木曜日に大みかコース(集合7:45)で行います。
(問合せ及び申込みはエチケット委員又は大みかコース事務局まで)
- ・昨年8月よりスタートし、多数の参加を頂きながら2月に第4回目を実施しました。プレーを通してルール・マナーの再確認や上級者による技術指導があり、ゴルフが楽しく、正しく、美しくなります。奮ってご参加下さい。



第4回研修会(H20.2.11)

競技委員会

平成20年度競技日程

回数	競技日	組	予備日	回数	競技日	組	予備日
206	4/10(木)	A・C合同、総会	4/14(月)	209	9/25(木)	C・D合同	9/29(月)
	4/17(木)	B・D合同、総会	4/21(月)	210	11/6(木)	A	11/10(月)
207	5/8(木)	A	5/12(月)		11/13(木)	B	11/17(月)
	5/15(木)	B	5/19(月)	11/20(木)	C	11/24(月)	
	5/22(木)	C	5/26(月)	11/27(木)	D	12/1(月)	
	5/29(木)	D	6/2(月)	211	1/29(木)	A	2/2(月)
	7/10(木)	A・D合同	7/14(月)		2/5(木)	B	2/9(月)
208	7/24(木)	B・C合同	7/28(月)	2/12(木)	C	2/16(月)	
	9/18(木)	A・B合同	9/22(月)	2/19(木)	D	2/29(月)	

- ・206, 208, 209回の合同競技会は日立ゴルフで行います。
- ・平成20年度チャンピオン戦：平成21年3月12日(木)〔平成20年度1位～3位及びBGの方対象〕

総務委員会

1. 会員数現況 (H20. 3. 5)

組編成の生年区分を見直し平成20年4月1日より、新たな編成で運営を行うことにしました。

(1) 会員数現況

組	生年区分	前年度	入会	退会	現在
A	S8年以前	101	0	17	84
B	S9～S12	132	1	10	123
C	S13～S15	107	1	9	99
D	S16～	59	12	2	69
合 計		399	14	38	375

(2) 平成20年度新生年区分による組織

組	新生年区分	人 員
A	S9年以前	108
B	S10. 1. 1～S12. 12. 31	99
C	S13. 1. 1～S15. 12. 31	99
D	S16年以降	69
合 計		375

2. 新入会員 (H19. 7. 7 以降)

No	入会	氏 名	出身	組	住 所
6	9月	小倉 忠夫	(日)	D	日立市川尻町
7	11月	飯田 芳彦	(日)	D	日立市金沢町
8	11月	工藤 光夫	(機研)	D	土浦市神立東
9	11月	山口 幹夫	(化)	D	日立市十王町
10	11月	堀江 慶宏	(日)	D	日立市台原町
11	11月	窪田 茂	(国)	D	常陸太田市巾中城
12	1月	吉本祐一郎	(日)	D	日立市台原町
13	1月	伊藤 裕	(日)	D	水戸市千波町
14	3月	畑山 直勝	(日)	D	日立市塙山町

3. 退会者 (H19. 7. 7 以降)

No	退会	氏 名	出身	組	事 由
21	7月	山岸 秀夫	(線)	C	自己都合
22	9月	奈良原俊和	(日研)	C	健康上
23	9月	保田 和雄	(珂)	A	健康上
24	10月	桑島 敏夫	(化)	B	自己都合
25	11月	平石 清登	(国)	C	自己都合
26	11月	栗原 誠	(本)	A	健康上
27	11月	宇津 威	(化)	B	自己都合
28	12月	杉山 千	(日)	A	ご逝去
29	12月	鈴木 三郎	(日)	A	健康上
30	1月	船村 郁英	(線)	A	自己都合
31	1月	牛窪 基之	(と)	C	健康上
32	1月	高島 祐吉	(勝)	A	健康上
33	1月	米山 弘	(線)	B	自己都合
34	1月	阿部 康一	(線)	B	自己都合
35	2月	牛山 啓	(化)	A	健康上
36	2月	吉田 襄三	(線)	B	自己都合
37	3月	田嶋 基文	(化)	B	健康上
38	3月	橋本勇二郎	(線)	B	自己都合

4. 平成19年度決算報告 (H20. 1. 31 現在)

収 入	(円)
(イ) 前年度繰越	545,325
(ロ) 年会費	1,161,000
(ハ) 競技会参加費	1,612,000
(ニ) 競技会不参加料 他	1,678
合 計	3,320,003

支 出	(円)
(イ) 競技会案内状	269,510
(ロ) 賞品代	914,899
(ハ) パーティ代	708,270
(ニ) シニアマーク代	7,506
(ホ) 印刷製本費	412,650
(ヘ) その他	303,034
合 計	2,615,869

平成19年度残高 704,134円

(収入3,320,003－支出2,615,869)

【補足説明】

(1) 収入の部

(ロ) 年会費未納者：なし

(2) 支出の部

(ホ) 印刷製本費

・会報21、22号 339,150
 ・会員名簿 73,500
 計 412,650

(ヘ) その他

・会報送料 32,160
 ・役員会 32,634
 ・額縁代 50,000
 ・その他 188,240
 計 303,034

5. 年会費納入のお願い

年会費(3,000円)の納入は、新年度最初の競技会時又は、銀行振込でお願いします。規約により年度末まで納入のない場合は、自動的に退会扱いになりますのでご注意ください。

- ・振込先：常陽銀行兎平支店 店番号103
- ・口座番号：1332207
- ・名 前：日立シニア会代表 石川 隆宏

6. コース除草作業 協力依頼

期日：6月4日(水) 8:30～11:00

[雨天時は次週6月11日(水)]

皆様の積極的な参加をお願いします。

35周年を迎え安全祈願

日立シニア会は昭和48年、大みかゴルフ同好会の会員数が多く、競技会の運営上58歳以上の者は別に競技会を実施する方が良いということで発足し、35年を経過しました。

この間無事故で今日に至ったのは、会員皆様のご精進もさることながら一重にコースの守護神・日立稲荷神社（前号で紹介）のご加護の賜物ならんと、昨年暮、篤志会員謹製のしめ縄を奉納し、研修会参加者一同にて無事故感謝と会員の清栄を願って参拝致しました。 副会長 吉田 晴彦



日立稲荷神社のしめ縄奉納と研修会に参加した皆さん

シニア山柳

入選五句「ゴシツク」

初優勝良きパートナーに支えられ
チップイン予想外で初優勝

花見 幸作

体操もゴルフも着地がものをいい
賞品と引き換え一句ブービー賞

飯束 政雄

幸運だボールがラフを避けている
夢に見たHSGの優勝自慢出来

鈴木 勝美

身のためと打数歩数を多くして
今日もなお未完の大器ブービーとなり

四十物雄次

空高く飛球はホールを確かめて
ブービー賞家に帰れば自慢賞

高月 英男

優勝の赤いリングに類ずりし
優勝がはるかにかすむブービー賞

薄 浩八

喜寿の祝ブービー賞の「おまけ」が付き
打った球遠くの方を探し過ぎ

山崎 精二

レバ・タラがつい口に出る三周目
百八と厄を払えどブービー賞

鷺山 重也

出腹よりパットメタポリ減らしたい
クラチャンを目指せば増える張り葉

片岡 武

ブービー賞妻に問われてそつと出し
ゴルフ歴長さ自慢がブービー賞

田隅 洪平

泉 勝夫

坂 則夫

メーカーの筈が最後のブービー賞

浅野 次夫

ミスショット言い訳ばかりが上手くなり
谷越えてチヨロでがっくりニューポール

橋本 宏

ブービー賞多発のスライスうらめしい
ブービー賞マーマーの成績と妻に言い

関 幸一

半鐘が消えパーシモン見直され
パーシモンその気高さに惚れ直し

一木 利信

寒い朝ナイスショットで気もうすら
パーオンを狙ったショットは池の中

木暮 澄夫

夢と散る寝床で数えたスコアなり
タラレバの反省しきりブービー賞

川松 文夫

ブービーはスコア見ないでビール飲む
ツーカーポギーポギーでボール替え

片岡 武

グリーンはリンダのどうにもとまらない
ブービーのエスプリ文化消えてゆき

木村 奎次

ブービーの妙なるショック懐かしや

滝川 嘉夫

吉田 晴彦

投句御礼

広報委員会の求めに応じ五席
(太文字) 選句させて頂きました。

選者恐惶謹言

編集 後記

◆会報表紙絵は、第12号からの“大みかGCシリーズ”を終了し、今年度から競技回数が増える“日立GCシリーズ”を企画、第一作をA組岡村参次氏に依頼し快諾戴いた。次号より会員諸氏の創作提供をお願いします。

◆シニア会35周年記念として、石崎前総務委員長より、シニア会の更なる発展には会員減少の予防措置が必要との具体的提言を頂いた。またA組中野修一氏より、大みかGC伝説の“故人見さんの想い出”を寄稿頂いた。エチケットを無視するプレーヤーが多い昨今、人見さんから受けた薫陶を懐かしむ人は多い。

◆今年度からブービー賞が廃止されます。紙面から、ブービー川柳の名句（迷句？）が消えるのは些が寂しいが、替わりに2、3位入賞の方に川柳投稿をお願いします。

◆新シリーズ“お国自慢”を企画しました。生まれ育った故郷の自慢話“おらが村、おらが誇り！”を是非会員の皆さんに紹介を。寄稿をお待ちします。 広報委員 橋本 正明